

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及びソフトウェアは定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当年度に帰属する額を計上している。

・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度で発生していると認められる額を計上している。

・修繕引当金

有形固定資産の修繕に備えるため、支払見込額のうち当該年度に負担すべき金額を計上している。

・貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(3) リース取引の処理方法

所有権移転外ファイナンスリース取引のうち重要性の乏しい取引については、通常の賃貸借取引に係る処理に準じた会計処理によっている。

(4) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	16,250,000	0	0	16,250,000
基本金特定資産	1,000,000	0	0	1,000,000
基本財産小計	17,250,000	0	0	17,250,000
特定資産				
退職給付引当資産	70,135,631	3,455,000	12,585,391	61,005,240
資産購入引当資産	2,500,000	2,000,000	0	4,500,000
米穀価格調整金引当資産	34,570,334	10,509,622	5,158,306	39,921,650
修繕引当資産	17,390,950	1,000,000	16,002,000	2,388,950
特定資産小計	124,596,915	16,964,622	33,745,697	107,815,840
合 計	141,846,915	16,964,622	33,745,697	125,065,840

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科 目	期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に対す る額)
基本財産				
土地	16,250,000	0	16,250,000	0
基本金特定資産	1,000,000	1,000,000	0	0
基本財産小計	17,250,000	1,000,000	16,250,000	0
特定資産				
退職給付引当資産	61,005,240	0	0	61,005,240
資産購入引当資産	4,500,000	0	4,500,000	0
米穀価格調整金引当資産	39,921,650	0	39,921,650	0
修繕引当資産	2,388,950	0	0	2,388,950
特定資産小計	107,815,840	0	44,421,650	63,394,190
合 計	125,065,840	1,000,000	60,671,650	63,394,190

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物及び附属施設	210,921,705	101,374,260	109,547,445
車輛及び運搬具	8,324,207	8,252,007	72,200
器具及び備品	42,389,037	36,757,715	5,631,322
ソフトウェア	22,385,580	8,743,910	13,641,670
合 計	284,020,529	155,127,892	128,892,637

5. その他

- ① 担保に供している資産はございません。
- ② 保証債務等の偶発債務はございません。
- ③ 開示が必要な関連当事者との取引はありません。